



発行： 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル 2F  
災害対策委員会 TEL (03)3351-5038  
FAX (03)5366-1058  
mail:dsstsw@jaswhs.or.jp

## \*\*\* 目次

1. 現地活動報告
2. 現地感想文
3. 災害対策委員会からのお知らせ
4. 事務所感想文

**「東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトンII」  
発売中！皆さま、ぜひご購入のうえご覧ください！！**

詳細は、“3. 災害対策委員会からのお知らせ”をご参照ください



牡鹿半島の鹿と花  
— 現地石巻 photo —

## \*\*\* 1. 現地活動報告 \*\*\*

活動期間:2013年 5月23日~5月25日  
広部 麻由子(大阪府 済生会吹田病院)

1、2日目は継続的にフォローしている方の自宅訪問、3日目はフィールドワークをおこないました。3日間でどのような活動が出来るのか不安な面もありましたが「今度来てくれたら相談しようと思っていた」と、これまで活動された全国のSWの関わりがあったからこそ必要時に支援につながったケースもありました。

フィールドワークでは市街地以外も回らせてもらいました。広い敷地に多くのトラックが行き来しており、民家があったこともイメージ出来ない光景でした。震災前からの民家には庭がある大きな家が多く、おそらく津波で流された家の多くも同様であったと思います。仮設住宅も見学に行きましたが、狭く隣家との壁も薄く交通の便も悪い印象で、そこで生活をされている方達がどのような思いでいらっしゃるか考えずにはいられませんでした。

復興のゴールが見えないなかで震災から2年が経過し、前に向かって歩き出せた人もいればそうでない方もいらっしゃいます。現地支援担当者がおっしゃった「震災から2年は変化の年。3年目だからこそ専門家の力が必要になる」との言葉がとても印象的でした。現地支援担当者が全国のソーシャルワーカーの代表として広いネットワークを築きながら支援活動に取り組まれている姿を近くで見ることができ、私自身もとても良い刺激を頂いたと思います。3日間という短い活動期間でしたが大阪に帰っても何らかの形で被災地支援に関わっていきたくです

### <参加を検討している方へのメッセージ>

協力員の活動は短期間になり十分なことが出来るのか不安もありましたが、実際に現地に行くと全国の協力員の方達が支援のバトンを繋いでいると感ずることが出来ました。職場とは違った場所でソーシャルワークを考えられる場所でもあり、現地で学ぶことはたくさんあると思います。



カフェ ら・めーる — 現地石巻 photo —

津波、浸水被害が大きかった地域で建物がとても少ない地域です。

そこに新しい、きれいな建物が希望のように建っています。お庭もお花がきれいに咲いています。

オーナーの方はもともと都内で生活保護のワーカーをされていた方です。

3月の總會のときにソーシャルワーカーが来店したことを覚えてらっしゃって、また来て下さいと。(現地担当 久保木)

活動期間:2013年 5月30日~6月1日

横山 翠(神奈川県 介護老人保健施設 さつきの里あつぎ)

今回初めて活動に参加しました。現地の久保木さん、富永さん、畑中さんが温かく迎えてくださり、短い期間でしたが活動に参加して良かったと感じています。

初日は寄磯浜、女川町を訪れ女川の仮設商店街でご夫婦にお話を聞かせていただきました。今もまだ仮設住宅での生活ですが、明るく笑顔で私たちに対して「外から来た人だから気兼ねなく話ができる、今日は話を聞いてくれてありがとう」と何回もお茶を入れてくださりました。

2日目は自宅に訪問をしました。震災の前後に分けて話をされることに胸が痛みましたが、ソーシャルワーカーの支援が必要であることを感じました。

3日目は遊楽館を訪れ館長さんに震災直後の様子やその時の活動について話を聞かせていただきました。当時の写真やその時の活動の内容には胸がしめつけられるような気持ちでしたが震災の実際の状況を知ることができました。

震災から2年経ち、瓦礫の山はなくなりましたが今は震災直後とは違う問題があり、復興にはまだまだ時間も継続的な支援も必要であることを感じました。私もできる限りで支援を続けていきたいと思いました。ありがとうございました。

#### <参加を検討している方へのメッセージ>

自分に何ができるのかと思う方もいらっしゃると思いますが「一人でも多くの方に被災地に関心を持ってもらえること、今を知ってもらうことも支援の一つなんですよ」と現地の方がおっしゃっていました。海鮮など美味しい食べ物がたくさんありました。迷っているのであれば、まずは行ってみてください。



活動期間:2013年 5月30日~6月1日  
有馬 彬乃(神奈川県 ふれあい東戸塚ホスピタル)

これまで「行きたい」という気持ちより「自分が行ってなにができるのだろう」という気持ちが勝ってしまい、2年もの月日が流れました。今回、現地協力員の方の「まずは来て現地のことを知ってください」という言葉に、何もできないかもしれないけれど、行かずにいるよりはずっといいと思えるようになり、参加を決心できました。もともとの現地の様子を知らない私には正直、ずいぶん復興が進んでいるのかな、と感じられるような街並みでした。しかし、沿岸部の地域をまわり、地域の方の話を伺うとなにもかもが信じ難く、今回の災害が本当に大きなものであったことを感じました。地域のことを何も知らない自分が、できることがあるのだろうかと不安を抱えながら一軒一軒訪問をしましたが、多くの方が「お変わりありませんか？」の一言に何時間も話続けてくださり、ふつふつと湧いてくるいろんな感情の混ざった想いを吐き出されているように思いました。最終日に伺った遊楽館館長さんの言葉が大変印象的でした。「2年経ち、災害も少しずつ忘れられてきているように思う今、外から人が来ると自分たちを今でも気にかけてくれていると感じる。そのことがとても有難い」。現地の方々の力強さを感じ、その力が存分に発揮されることを少しでもお手伝いしたいと改めて感じた3日間でした。

<参加を検討している方へのメッセージ>

なによりまず現地に足を運ばなければ感じられないものがたくさんあると思います。

## \*\*\* 2. 現地感想文 \*\*\*

\*\*\* 6/10久保木 美由紀 (現地担当)

ソーシャルワーク相談の記事が市報に掲載され電話相談が3件ほどありました。今のところ、保健師さんへつないだり、情報提供のみで終わるケースで継続して関わるケースの依頼は増えていません。

\*\*\* 6/18久保木 美由紀 (現地担当)

石巻も気温が20度を超えることが多く暑くなってきましたがまだまだ朝夕は冷えます。体調管理に努め活動してまいります。

## \*\*\* 3. 災害対策委員会からのお知らせ \*\*\*

### 【1. 現地職員急募状況】

現在、応募者と調整中

### 【2. 協力員募集】

#### \*\*\* 現 地

現在、1日あたり上限2,3名で募集しております。

中3日以上、なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害対策委員会までお気軽にご相談ください。

**但し、初回参加の方は活動日数を3日以上でご参加お願い致します。**

今後、活動に参加される方で初回参加の方には、簡単な資料を郵送致します。ホームページに活動カレンダーを掲載しておりますのでご覧下さい。

#### \*\*\* 事務所

引き続き募集しております。平日のみの活動ですが1~2ヶ月に1回でも構いません。ご協力をお願い致します。

### 【3. 災害対策委員会】

次回会議予定 7月20日(土) 13:00~15:00 於協会会議室

### 【4. 書籍販売】

全国のMSWでバトンをつないだ当協会の活動の軌跡第2弾

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンII』の販売を行っています！

A5版フルカラー141頁 定価1,000円(税込・送料別)  
平成23年10月から平成24年12月までの災害対策本部、石巻市での仮設住宅支援・在宅被災世帯支援・市民活動支援、現地ソーシャルワーカーとの協働の記録をまとめました。ぜひご覧になってください。尚、売上金の金額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。  
引き続き、発災から平成23年9月30日までの活動記録『東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトンI』の販売も行っています。

\*\*\* 注文用紙はホームページからダウンロードできます。

I → [http://www.jaswhs.or.jp/upload/Img\\_PDF/47\\_Img\\_PDF.pdf](http://www.jaswhs.or.jp/upload/Img_PDF/47_Img_PDF.pdf)

II → [http://www.jaswhs.or.jp/upload/Img\\_PDF/101\\_Img\\_PDF.pdf](http://www.jaswhs.or.jp/upload/Img_PDF/101_Img_PDF.pdf)



## 【5.facebook】



facebook でも情報をお伝えしています。現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願いたします。

\*\*\* URL

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

## 【6.YouTube】

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんがVTRにまとめて下さいました。YouTube にアップしましたので、是非ご覧ください。「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。

\*\*\* URL

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>



## \*\*\* 5. 事務所感想文 \*\*\*

\*\*\* 6/17 金子 小夜子（災害対策委員会事務所）

梅雨なのに真夏日が続きます。時として台風なみの風雨にも襲われます。被災された方々の日々が穏やかな日々にかわるように復興のスピードを上げてほしいものです。5月18日にも東北に大きな揺れがありました。復興に向けての心が折れないことを祈っています。自分ができることを、できる範囲で続けていきたいと思ひます。

<編集後記>

約2年間に渡り群馬県医療ソーシャルワーカー協会で災害支援ニュースを作成してまいりましたが、次号からは徳島県医療ソーシャルワーカー協会にバトンタッチいたします。これまで、大変お世話になりありがとうございました。今後も別の形で災害支援活動に参加していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

(編集担当 群馬県 老年病研究所附属病院ソーシャルワーカー一同)

東日本大震災 MSW 災害支援ニュース  
平成 25 年 6 月 21 日 第 3 卷 5 号  
作 成 群馬県医療ソーシャルワーカー協会



上毛カルタ ㊦から(力)あわせる 200万

コメント:「200万」は群馬県の総人口です。私たちが力あわせるソーシャルワーカーでありたいと願いつつ、昨年の群馬大会にて群馬県医療ソーシャルワーカー協会の実行委員、協力員の集合写真です。